

横浜を本拠地とする**設備設計計事務所**です

お気軽にお問い合わせください

株式会社
二十一設計

☎ 045-317-6656

建設ニュース、入札情報の建通新聞。[建設専門紙]

総合 特集 リリース イベント 商品案内 経審データ販売 アフィリエイト 社説 コラム ネット広告 電子版について

中日本建設コンサ...様

民間初期情報 | 入札情報 | 発注予定・営繕 | 建設会社検索 | 予算情報 | 入札参加要領 | 建設人 | 新聞記事検索 | 自治体 |

サイト内検索

レーダーで欠陥探査 岐大が実地試験

2017/2/1 中部

いいね 0 ツイート スクラップする

ニュース・入札・民間
メールで受け取る

8ヶ年度のニュース
読むには

建設会社データ
購入する

非接触レーダーなどを搭載した車両を走らせながら老朽化したトンネル覆工の内部欠陥を点検する技術の実地試験が岐阜県本巣市の小鹿トンネルで行われ、その効果が検証された。交通を規制せずに点検でき、作業も低減できる技術として期待は大きい。

パシフィックコンサルタンツ（東京都千代田区）など5社の共同研究グループが2017年度の実用化を目指す「高速走行型非接触レーダーによるトンネル覆工の内部欠陥点検技術と統合型診断システム」の実地試験に、国や県、大学、民間企業の技術者ら約40人が立ち会った。内閣府が推進する「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」事業に採択された技術で、検証を岐阜大学が行った。

新技術では、壁面から3メートル離れていても内部を探査できるレーダーや、トンネル壁面の変形を計測するレーザー、壁面のひび割れや変状を連続撮影するカメラが搭載された車両を走らせることで解析、診断ができ、その結果を3D可視化技術でデータベース化もできる。レーダー・レーザー・画像を組み合わせた健全度診断は日本で初めての試み。

診断による異常箇所のみを技術者が打音検査などで調べることで、点検作業の低減、効率化が図れるため、打音検査の代替・補完技術として活用できると期待されている。



非接触レーダーなどを搭載した車両

先着30社様 人材に関するお悩みを解決します!

激変する建設業界で勝ち抜くための採用・育成・定着支援セミナー **参加無料**

2/22(水)14:00~17:30(13:30開場)
大阪 HERBIS ENT 貸会議室

電子版の申し込みはこちら >>

新聞(宅配)の申し込みはこちら >>

民間情報	入札情報	会員情報変更
記事検索	スクラップ	メール配信設定
購読案内	試読	紙面紹介

掘削水、セメント洗浄水
ハツリ・削孔排水、
アオコ浄化

排水処理剤「水夢」

株式会社
アクト